

# 目 次

あいさつ

京都市教育長 在田正秀

<b>I 研究の概要</b>	1
1 主題設定の理由	
2 調査研究内容	
(1) 調査研究の目的	
(2) 調査研究の流れ	
<b>II 研究の内容</b>	
1 みつば幼稚園	3
学校運営協議会「みつばの森」設立10周年を迎えて	
～保育との関連を問い直し、園児の育ちに活きる連携を探る～	
(1) 研究主題設定の理由	
(2) 学校運営協議会の取組	
(3) 研究の内容	
(4) 成果と課題	
2 深草幼稚園	41
学校運営協議会や地域の人々の保育参画から園児の育ちを見つめる	
～保育参画を教育課程に位置付ける試みを通して～	
(1) 研究主題設定の理由	
(2) 学校運営協議会の取組	
(3) 研究の内容	
(4) 成果と課題	
<b>III 成果と課題</b>	88
1 幼稚園における学校運営協議会の意義	
2 社会に開かれた教育課程の実効性ある取組について	
3 社会生活とのかかわりがもたらす幼児の育ちについて	
(参考) 京都市立幼稚園の地域とのかかわり	
<b>IV 特別寄稿</b>	107
名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部 子どもケア学科 教授 津金美智子	
京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授 古賀松香	

おわりに

京都市教育委員会 学校指導課 首席指導主事 中西 昌子

## あいさつ

京都は1200年を超える長い歴史の中で培われた伝統と文化を大切にし、自由で先駆的な気風を育みながら、個性豊かで活力に満ちたまちを築いてきました。明治維新による町の衰退が危惧される中、文部省創設（明治4年）、学制発令（明治5年）に先立つ明治2年、「まちづくりは人づくりから」と、町衆（市民）が資材を投じ、日本で初めて、64もの地域制小学校（番組小学校）を設立しました。

このような歴史と伝統が今に息づく京都市では「一人一人の子どもを徹底的に大切にす

る」という教育理念の下、各学校・幼稚園が教育目標を保護者・地域の皆様と共有しながら、開かれた学校づくりにより、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を推進してきました。平成28年12月、幼稚園教育要領、学習指導要領の改訂に向けて示された中央教育審議会の答申では、「社会に開かれた教育課程」が提言されており、幼児教育においても、幼児に自然や身の回りの物を大切にする態度や、社会とのつながりの意識を育んだり、多様性を尊重する態度や国際理解の意識の芽生え等を育んだりすることが求められています。

また、「地域の子どもは地域で育てる」という本市教育の伝統を各園が受け継ぎ、地域連携の取組を進めており、特に、現在12園で設置している学校運営協議会を核とした地域との連携は京都市立幼稚園の大きな特徴であります。

この度、文部科学省から「幼児期の教育内容等深化・充実調査研究事業」の委託を受け、学校運営協議会との連携を通して「将来の社会の一員としての素地を養う」視点でこれまで京都市立幼稚園が実践してきた取組を問い直し、社会生活とのかかわりにおける新たな意義を見つけ出すため、研究を進めてまいりました。

本研究により得られた成果や実践、また今後の課題等をまとめ、冊子として発行できますことは誠に意義深いものであり、本研究が全国の幼児教育の更なる発展につながるものと確信しております。今後とも、京都市立幼稚園での研究・実践の成果を発信し、幼児教育の充実に全力を挙げてまいりますので、ますますの御支援・御理解をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、本研究と実践を進めるにあたり、御尽力賜りました学校運営協議会をはじめとする地域の皆様、研究協力園の熱意溢れる先生方、御指導・御助言をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

京都市教育委員会

京都市教育長 在田 正秀